

第48回少年少女球技大会

毎年恒例の少年少女球技大会の季節がやってきました。

選手たちは皆、この日のために一生懸命練習し、成果を発揮する機会を心待ちにしています。

子どもたちの輝く顔、頑張っている姿をぜひ見に来てください。

日 時 7月14日(土)・15日(日)（予備日：16日(月)・21日(土)）

●14日(土)：午前8時30分試合開始

●15日(日)：午前8時試合開始

会 場 富士見公園グラウンド

7月1日(日)は青少年社会参加実践活動（清掃活動）

みんなの街をもっときれいにしよう！

毎年、青少年の皆さんが「自分たちの街を自分たちの手できれいにしよう」と行っているのが、社会参加実践活動です。

当日は多摩川および市内の公共施設などの清掃活動を行います。

各地区委員会ごとに集合時間や集合場所が異なります。注意してください。皆さんの参加をお待ちしています。

問合せ 児童青少年課児童青少年係

■各地区の集合場所・時間

地区	集合場所	集合時間
東	玉川兄弟銅像前	午前8時
西	宮の下運動公園グラウンド子ども広場	
富士見	五ノ神会館庭	午前9時
栄小	栄小学校校庭	
松林	松林小学校・羽村第二中学校の各校庭	
小作	小作台小学校校庭	
武蔵野	武蔵野小学校校庭	

第27回青少年健全育成ポスターコンクール作品の募集

学校・地域・家庭で感じていること、望んでいることをポスターにしてみませんか。ぜひ、応募してください。

対 象 市内小・中学生

テーマ 友情／街をきれいにしよう／自然を大切にしよう／いじめをなくそう／あいさつをしよう／いのちを大切にしよう／公園をきれいにしようなど、ふだん学校や地域・家庭で感じていること

応募方法 9月3日(月)までに、四つ切り(542mm×382mm)の画用紙を使用し、作品の裏側に、「学校名・学年・組・氏名(ふりがな)」を記入し、直接児童青少年課へ

応募先・問合せ 児童青少年課児童青少年係

※入賞作品は、11月3日(土)から11日(日)まで、ゆとりぎで展示します。

※入賞作品の著作権は羽村市に帰属します。

※最優秀作品に選出された作品は、青少年健全育成ポスターとして使用します。

発表 入賞した場合は、広報はむら・市ホームページなどで「学校名・学年・氏名」を発表します。

表彰 最優秀作品・優秀作品は、11月10日(土)の「青少年健全育成の日」に表彰します。

第12回 はむらふるさと祭り参加者募集

はむらふるさと祭りは、よさこいソーランなどの踊りを中心とした祭りです。

この祭りに出演する市内青少年団体を募集します。よさこいソーランのほか、どんな踊りでも参加できます。

剣道、キックボール、野球、サッカーなどの青少年団体の皆さん、ぜひ応募してください。

第12回 はむらふるさと祭り

期 日 9月22日(土)・23日(日)

会 場 小作駅東口駅前広場

申込み・問合せ 7月31日(火)までに、

「はむらふるさと祭り参加希望・団体名・代表者名・電話番号」を記入し、ファクスではむらふるさと祭り実行委員長（黒田）へ

☎・FAX 554-9711

市長とトーク（タウンミーティング）

「あなたの意見を市政に」

身近な暮らしのこと、市の仕事、まちづくりへのアイデアなど、市民の皆さんの提案を市長が伺います。

気軽に話のできる場です。ぜひ、参加してください。

日時・会場

□ 7月26日(木) 三矢会館

□ 10月4日(木) ゆとりぎ2階講座室1

□ 11月13日(火) 中央館

※時間はいずれも午後7時～9時

対象 市内在住・在勤の方

参加方法 事前に、電話または直接広報広聴課市民相談係へ

※予約の枠に空きのある場合は、当日会場でも受け付けます。当日の受付は午後8時30分までです。

※一人ずつ市長と話していただきます。

（一人15分程度）

※団体を代表してではなく、個人として参加してください。

※提案の内容によっては、後日回答する場合があります。

※秘密は固く守ります。安心して参加してください。

問合せ 広報広聴課市民相談係

講演会

「子どもの虐待」その理解と支援

「子どもの未来を守るために」

痛ましい事件が後を絶たない児童虐待。児童虐待の早期発見・未然防止のためには、地域の力が不可欠です。

虐待が起こる背景に迫り、苦しんでいる子どもや家庭への支援について考えます。ぜひ、参加してください。

日時 7月25日(水)午後2時～4時

会場 ゆとりぎ2階講座室1

対象 講演テーマに関心のある方

定員 76人（先着順）

参加費 無料

講師 片倉昭子さん（子どもの虐待防止センター理事）

共催 羽村市要保護児童対策地域協議会・東京都立川児童相談所・羽村市教育委員会

申込み・問合せ 事前に、電話で子ども家庭支援センターへ ☎ 5781

2882

暑い夏！熱中症に注意しよう

熱中症は、気温や湿度が高かったり、風が吹かない環境で発症します。

特に高齢の方や幼児は、体温調整機能が衰えたり、未発達であるためにさらに発症のリスクが高くなります。節電への意識が高まるあまり、エアコンなどの使用を控えすぎないように注意しましょう。

近年は室内で熱中症になり、救急車で搬送されるケースが増加しています。周囲の方の見守りと、早めの予防対策で夏を乗り切りましょう。

■急に暑くなった日は特に注意が必要です。気象情報に注意しましょう。

■熱中症は室内でも起こります。適度にエアコンや扇風機を使用しましょう。

熱中症の予防方法

○帽子や日傘で直射日光を防ぐ

○喉が渇かなくてもこまめに水分補給

○多量の汗をかいた時は塩分も補給

○温度計などを活用して室内でも温度確認

○気温が高い日はエアコンや扇風機を上手に使う

○カーテンやすだれ、よしずを使って部屋に直射日光が入らないようにする

○日ごろから栄養バランスのとれた食事と十分な睡眠をとる

こんな症状に注意

□ 軽度：めまい、立ちくらみ、筋肉痛、汗がとまらない

■ 中度：頭痛、吐き気、体がだるい、虚脱感

■ 重度：意識がない、けいれん、高い体温、呼びかけに応じない

熱中症になってしまったら

◆ 涼しい場所へ避難

◆ 水分補給

◆ わきの下や足の付け根を冷やす

※意識がなかったり、自力で飲み物を飲めない場合は救急車を呼びましょう。救急車を呼ぶか判断に迷ったら、東京消防庁救急相談センターへ電話で相談してください。

□ 東京消防庁救急相談センター

☎ #7119（24時間・年中無休）

問合せ 保健センター ☎ 5551111

